

TA-540


- 適合サイズが広範囲な万能型圧着工具
- ラチェット機構で安定した圧着品質を実現
- 握りやすい形状のため軽快なハンドル操作を約束



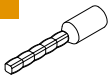
①四角穴にフェールの導電部を根元まで差込みます。



②ラチェットが解除するまでハンドルを握ります。

0.14mm (AWG 26) ~ 10mm (AWG 6) までの電線を圧着する際にはノブを“10□”の位置、16mm (AWG5) を圧着する際には“16□”の位置に切替えてご使用ください。

形式	適合電線サイズ	圧着形状	質量	標準価格(税抜)
TA-540	0.14mm~16mm AWG26~AWG5		420g	58,340円

注) TA-540で0.08mmの電線を圧着する際、0.14mm、0.25mm、及び0.34mm用のフェールは使用しないでください。電線が細く、フェールの適用範囲とあわない為、電線が抜けることがあります。0.08mmの電線を0.14mm、0.25mm、及び0.34mm用のフェールで圧着する場合は、別記 TA-210の使用を推奨致します。

【導電部(金属部)が長く1回で圧着出来ないフェールの2回圧着方法】

対象工具型式：TA-540, CEB0160S, CEB1025

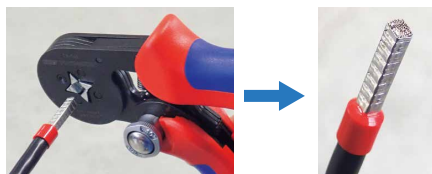
導電部が長く1回で圧着出来ないフェールは、下記のように2回圧着を行ってください。(写真はTA-540です。)



①導電部の末端(被覆側)までフェールを差し込み、圧着します。



②上記の状態からフェールをひねらないようにずらし、未圧着部を圧着します。



③圧着完了です。

〈注意事項〉

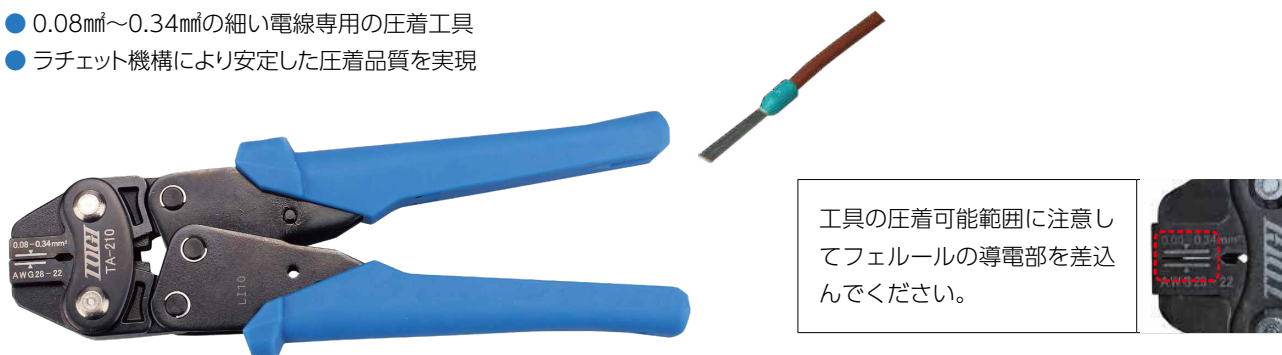
①導電部がまっすぐになるように圧着をしてください。



②同じ箇所に何度も圧着を繰り返すと、導電部に変形・破れ等が発生する恐れがございますのでご注意ください。

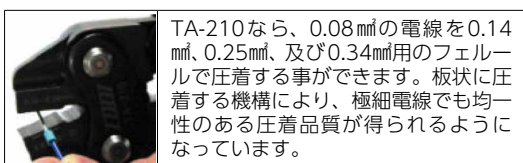
TA-210

- 0.08mm²～0.34mm²の細い電線専用の圧着工具
- ラチェット機構により安定した圧着品質を実現



工具の圧着可能範囲に注意してフェールの導電部を差込んでください。

※注意 TA-210で圧着したフェール端子及び板状に圧着したフェール端子はVTZシリーズにご使用できませんのでご注意ください。



TA-210なら、0.08mm²の電線を0.14mm²、0.25mm²、及び0.34mm²用のフェールで圧着することができます。板状に圧着する機構により、極細電線でも均一性のある圧着品質が得られるようになっています。

形 式	適合電線サイズ	圧着形状	質 量	標準価格(税抜)
TA-210	0.08mm ² ～0.34mm ² AWG28～AWG22		340g	22,840円

TA-210 適合端子台

	形 式	適合電線サイズ	フェール導電部長さ
端子台	JT10-CH□P JT20-CH□P JT40-CH□P	AWG28～22 0.08～0.34mm ²	10mm
	VTX-1.5/2 VTX-1.5/3 VTX-1.5/4 VTXW-1.5/2		10mm
インターフェイス (コネクタ端子台)	PCXシリーズ PCXVシリーズ	AWG28～22 0.08～0.34mm ²	8、10、12mm
	PCV5シリーズ PCIV PCRY(P)-4FVIF		8、10mm
CC-Link	伝送/電源用コネクタ	AWG24～22 0.2～0.34mm ²	10mm
	入出力用端子台 MT1XRシリーズ	AWG28～22 0.08～0.34mm ²	8、10、12mm
	入出力用端子台 AT1VRシリーズ CT1VRシリーズ		8、10mm
中継BOX	BVT-5 (BOXTSシリーズ)		8、10mm

その他推奨工具 (調達製品)

形 式	外 観	適合電線サイズ	圧着形状	質 量	標準価格(税抜)
CEB0160S		0.14mm ² ～6mm ² AWG26～AWG10		370g	62,000円
CEB1025		10mm ² ～25mm ² AWG8～AWG4		515g	70,000円

【圧着工具適合表】

電線サイズ断面積			適合フェルール		TA-540	TA-210	CEB0160S	CEB1025
mm ²	/	AWG	絶縁スリーブ付きフェルール GB型絶縁スリーブ付フェルール 2本接続用フェルール					
0.08 (0.08)	/	28	TA0.14-8GY TA0.25-※※	TA0.34-※TQ	-	○	-	-
0.14 (0.12)	/	26	TA0.14-8GY TA0.25-※※	TA0.34-※TQ	○	○	○	-
0.25 (0.2)	/	24	TA0.14-8GY TA0.25-※※	TA0.34-※TQ	○	○	○	-
0.34 (0.3)	/	22	TA0.14-8GY TA0.25-※※	TA0.34-※TQ	○	○	○	-
0.5 (0.5)	/	20	TA0.5-※※ TA0.5-※WH-GB		○	-	○	-
0.75 (0.75)	/	18	TA0.75-※※ TA0.75-※GY-GB		○	-	○	-
1	/	18	TA1-※※ TA1-※RD-GB		○	-	○	-
1.5 (1.25)	/	16	TA1.5-※※ TA1.5-※BK-GB		○	-	○	-
2.5 (2)	/	14	TA2.5-※BU		○	-	○	-
4 (3.5)	/	12	TA4-※GY		○	-	○	-
6 (5.5)	/	10	TA6-12※		○	-	○	-
10(8)	/	8	TA10-12RD		○	-	-	○
16(14)	/	6	TA16-12BU		○	-	-	○
2×0.5 (2×0.5)	/		TAW0.5-※WH		○	-	○	-
2×0.75 (2×0.75)	/		TAW0.75-※GY		○	-	○	-
2×1	/		TAW1-※RD		○	-	○	-
2×1.5 (2×1.25)	/		TAW1.5-※BK		○	-	○	-
2×2.5 (2×2)	/		TAW2.5-※BU		○	-	○	-

※ ()内寸法はJIS断面積

● 圧着作業の手順と留意点

		
①電線の被覆をフェールの“推奨電線むき長さ”にむく。(P074、075参照)	②フェールに銅線を挿入し、フェールの導電部を適合工具で圧着する。	③フェール先端からはみ出した銅線を0～0.5mmに切断する。

※被覆をむく時に銅線をキズつけないよう注意してください。

※フェールの圧着は工具のラチェットが解除するまで握りきってください。

※軽く電線を引張り、電線がフェールから抜けない事を確認してから機器へ接続してください。

◆ 端末処理の悪い例

下記の処理状態は接続後のトラブルの原因となりますので圧着作業をやり直して下さい。

- A. 銅線がフェールの中で折り返され、フェールの絶縁スリーブからはみ出している。
- B. フェールの先端から銅線が極端にはみ出している。
- C. 電線の挿入が浅いまま圧着し、銅線が露出している。
- D. 電線むき長さが足りず銅線がフェール先端まで入っていない。
- E. 先端のみ圧着されている。
- F. 1本用のフェールに電線を2本圧着している。
- G. 銅線にキズ、又は断線箇所がある。

